

2016年度 知財一般セミナー

# 開発現場の知財力 UP 講座

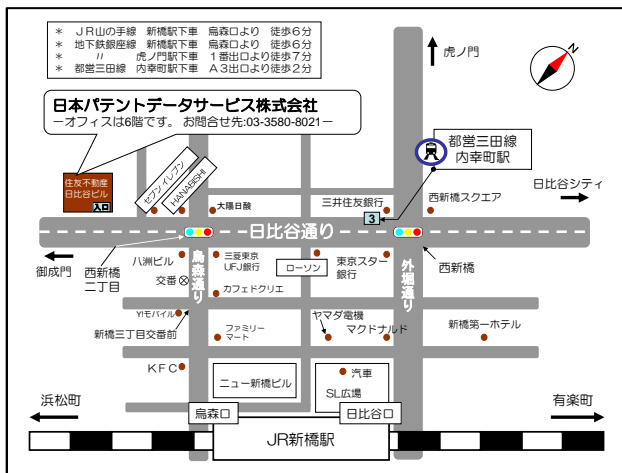
自社製品の課題を見つめ、創造を形にするには？  
有利な事業展開を進めるための開発&知財連携

**A**  
17

**実習**  
あり

入門 ← レベル → 上級

我国企業の多くは、事業環境の変化に対応すべく、事業・技術・知財の三位一体活動を推進し、経営力を強化しようとしております。しかし、開発現場では、市場ニーズと自社技術のミスマッチ、事業と知財のミスマッチ、魅力的な商品の源泉となる発明が創出されないといった課題を抱え、現実には三位一体活動の実践が難しく自社の知財力が低いといった声（課題）がよく聞かれます。このような課題は、知財マネジメントの最適化が現場レベルでできていないことが一因と考えられます。本講座では、自社コア技術の評価・分析・管理、自社知財ロードマップ（コア技術の具体化・可視化）、知財活用型経営、現場でのワイガヤによる発明生産、開発現場で直面する知財問題（部門間の見えざる壁）、新規事業展開検討、知財情報活用マーケティング（将来の顧客ニーズ）、といった内容について演習を交えながら解説します。開発部門管理者・中堅技術者・商品企画担当者・知財担当者の他、企業経営者まで幅広い方々を対象とした、開発現場の弁理士による実践的な講座です。



**講師：**弁理士 宮澤 亘  
現電子デバイスメーカー開発部門マネージャー

**場所：**日本パテントデータサービス(株) セミナールーム  
東京都港区西新橋2-8-6  
住友不動産日比谷ビル6F  
TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

**時間：**1日間コース（午前10:00～午後4:00）

**受講料：**20,000円（税別）

**定員：**24名（先着順申し込み）

**開催日：**8月19日（金）、  
2017年1月20日（金）

- 【申込方法】FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX:03(5512)7810 メール:chizai-semi@jpds.co.jp  
(受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)
- 【キャンセル】セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

## 「開発現場知財力 UP 講座」申込書

お申込日 年 月 日  
日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名		
住所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 8月19日 <input type="checkbox"/> 2017年1月20日					
受講者氏名				所属		
E-mail				特許経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無	
受講者氏名				所属		
E-mail				特許経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無	
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード: )					
備考:	※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)					

## セミナースケジュール（現場知財力 UP 講座）

午前 10:00	講師紹介
10:05	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開発現場弁理士からみた事業環境と知財</li> <li>2. 現場知財力評価検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社コア技術の評価・分析・管理</li> <li>・ 自社知財ロードマップ作成（コア技術の具体化・可視化）</li> <li>・ 知財をフル活用した事業展開・知財活用型経営事例  （演習）：自社の現場知財力の評価  （演習）：開発現場コア技術分析（強み・弱み・機会・脅威分析）  （演習）：開発現場の戦略検討（強・弱・機会・脅威分析からの戦略検討）</li> </ul> </li> </ol>
11:45	昼休憩
12:45	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 開発現場での発明検討会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデア検討会の事例</li> <li>・ アイデア検討から明細書案作成  （演習）：マインドマップ活用によるアイデア検討  （演習）：発明可視化シートによるワイガヤアウトプット（発明生産）  （演習）：発明再定義（着想の上位概念化、具体化、実施例展開）</li> </ul> </li> </ol>
14:20	休憩
14:30	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 開発現場で直面する知財問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門間の見えざる壁の除去（部門間・事業間シナジーの発揮）</li> <li>・ 交渉術</li> </ul> </li> <li>5. 新規事業展開検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知財情報活用マーケティング（将来の顧客ニーズ）</li> <li>・ 土地勘の無い異分野に進むための検討  （演習）：新事業展開検討</li> </ul> </li> </ol>
	質疑応答
16:00	終了

（※注）演習内容は、受講者の職位や人数に応じて、変更する場合があります。

### 【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。